

アラップ(輸送)ノゾンアッパ(輸送)

携企業に輸出。選別し
た上、タイやカンボジ

地域の古着 集めて輸出

古着販売業デンドンア
ップ（岡本昭史社長）
と共同で、輸出による
古着のリユース（再利

用)を始めた。県内で
初の取り組みで、町民
から古着を集め、同社
が東南アジアやアフリ
カなどに送る。日本の
古着は海外で一定の価
値を持つが、大半がこ
みとして焼却処分され
ているのが現状。同町
は1年前から古着の回
収を始めており、さり
に活動を広げ、資源の
有効活用とごみの減量
を図る。

町民から提供された
古着は町が1円当たり
2円で同社に販売し、
同社がマレーシアの連

A black and white photograph showing a person from behind, wearing a striped shirt, using a vertical recycling bin. The bin is labeled "古着回収 BOX" (Used Clothing Recycling Box) at the top. It features a recycling symbol and several circular icons with symbols like a shirt, a pair of pants, a shoe, and a battery, each accompanied by Japanese text. The background shows a building with multiple identical recycling bins.

回収箱設置、22カ国に

県内初、再資源化へ率先

携企業に輸出。選別した上、タイやカンボジア、アフリカなど22カ国で再使用する。古着として使えない物は、裁断して機械類を清掃する布切れなどして活用する。

同社商品部の高橋徹さん(38)は「日本の古着は状態が良く海外で人気があるが、再資源化の取り組みは遅れている。一戸を皮切りに岩手から資源循環を発信していきたい」と意気込む。

月から、試験的に町役場窓口で古着回収を開始。町内の保管所や町内会などが回収した場合は、1kg当たり5円で買い取っている。今年2月までに475kgを集まつた。

町水環境課の福田栄樹生活環境係長は「町民にエコロジーへの参画意識を高めてもらいたい」と呼びかけた。

一匹町とドン・ゼン・アップが共同で設置した古着回収箱。集めた古着は海外へ渡る